

CA Clarity™ PPM

リリース ノート - オンプレミス

リリース 13.3.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2013 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章：リリース ノート	7
このドキュメントで説明する項目	7
トレーニング	8
各国語のサポート	8
公開済みの修正	9
既知の問題および解決された問題	10
既知の問題	10
解決された問題	10
Java Runtime Environment の問題	10
サポートされているアップグレード パス	10
アドインの互換性	11
CA Clarity PPM ソリューション パックの互換性	12
CA Business Intelligence (CABI) リリース 3.3 Service Pack 1	13
 第 2 章：新規機能と拡張機能	 15
新規機能	15
拡張された機能	22
 第 3 章：ドキュメント	 25
マニュアルの変更点	26
CA Technologies マニュアル選択メニューの表示	27
 付録 A: 互換性	 29
CA Clarity PPM サーバ	29
統合サーバ	33
クライアント	34
Clarity Mobile Time Manager	36
CA Clarity PPM に含まれる製品	37
変更履歴	38
CA Clarity PPM リリース 13.3.00 での変更点	38

CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点	40
CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点	42
CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点	44
CA Clarity PPM バージョン 13.0.00 での変更点	45
FIPS オペレーティング モード制限	46
IPv6 ネットワーク 互換性制限	47
CA Business Intelligence リリース 3.3 SP1 - (SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 6) サポートされている設定	51

付録 B: アクセシビリティ機能 55

製品機能の強化点	55
ユーザのアクセシビリティの設定	59
キーボード ショートカット	60

付録 C: サードパーティ ソフトウェアに関する通知 63

第 1 章：リリースノート

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[このドキュメントで説明する項目](#) (P. 7)

[トレーニング](#) (P. 8)

[各国語のサポート](#) (P. 8)

[公開済みの修正](#) (P. 9)

[既知の問題および解決された問題](#) (P. 10)

[サポートされているアップグレードパス](#) (P. 10)

[アドインの互換性](#) (P. 11)

[CA Clarity PPM ソリューションパックの互換性](#) (P. 12)

[CA Business Intelligence \(CABI\) リリース 3.3 Service Pack 1](#) (P. 13)

[新規機能と拡張機能](#) (P. 15)

[ドキュメント](#) (P. 25)

[互換性](#) (P. 29)

[アクセシビリティ機能](#) (P. 55)

[サードパーティ ソフトウェアに関する通知](#) (P. 63)

このドキュメントで説明する項目

このドキュメントでは、CA Clarity PPM で拡張された機能、ドキュメント、およびシステム要件について説明します。このリリースでは、製品からアクセスできる CA Technologies マニュアル選択メニューを用意しています。マニュアル選択メニューと製品マニュアルの詳細については、「[CA Technologies マニュアル選択メニューの表示](#) (P. 27)」を参照してください。

注：本製品は、本書の出版時点で、本書に記載されているオペレーティング システムおよびサードパーティ製のソフトウェアをサポートしています。最新のリリース ノートは、CA サポート (<http://ca.com/support>) に掲載されています。詳細なインストール手順については、「インストール ガイド」を参照してください。

トレーニング

ユーザ トレーニングについては、CA Technologies は、CA Productivity Accelerator (CA PA) ソリューションを提供しています。このソリューションを使用して、教材を独自に作成したり、シミュレーションや評価を行うことができます。作成した教材は、教室でのトレーニングや、オンラインのシミュレーションで使用します。ユーザは、[ユーザ] ツールバーの[ラーニング] リンク、または、LMS (学習管理システム) からシミュレーションや評価を行うことができます。CA PA が提供する標準のコンテンツ モジュールにより、CA PA エディタへのアップロードが可能になり、CA Clarity PPM の設定に合わせて変更できます。また、組織のプロセスおよび手順を CA PA ソリューションに統合することができます。

CA Education はこれらのトレーニング ソリューションを提供します。提供されているトレーニングと CA PA の詳細については、<http://ca.com/education> の CA Education Web サイトを参照してください。

各国語のサポート

国際化製品とは、必要なオペレーティング システムおよびサードパーティ製品のローカル言語バージョンで正常に動作する英語版製品です。また、国際化製品は、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語の書式をサポートします。

翻訳済み製品 (ローカライズ済み製品とも言います) とは、製品のユーザ インターフェース、オンライン ヘルプ、その他のドキュメントのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

この製品は完全にローカライズされ、日付、時刻、および数値フォーマットに関する **100** 以上の地域設定をサポートします。 ユーザインターフェースは、以下の言語で利用できます。

- | | |
|----------------|------------|
| ■ ポルトガル語（ブラジル） | ■ 日本語 |
| ■ チェコ語 | ■ ノルウェー語 |
| ■ デンマーク語 | ■ ポーランド語 |
| ■ オランダ語 | ■ ロシア語 |
| ■ 英語 | ■ 中国語（簡体字） |
| ■ フィンランド語 | ■ スペイン語 |
| ■ フランス語 | ■ スウェーデン語 |
| ■ ドイツ語 | ■ 中国語（繁体字） |
| ■ ハンガリー語 | ■ トルコ語 |
| ■ イタリア語 | |

CA Clarity PPM オンライン ヘルプと製品ドキュメントのローカライズバージョンは、製品の一般リリース（General Availability）から **90** 日以内に提供されます。

ローカライズされた製品ドキュメントの最新のバージョンは、[CA サポート](#)から入手できます。

公開済みの修正

製品の認定マトリクス、およびテクニカル サポートが <http://ca.com/support> で提供しているソリューションとパッチを確認することを推奨します。ユーザはソリューション、パッチ、および製品リリースに必要なすべての前提条件の発行済み修正プログラムを確認できます。

既知の問題および解決された問題

既知の問題

既知の問題については、[CA Support Online](#) にログインし、キーワード「*clarity13open*」を使用して検索してください。すべての関連記事および既知の問題が表示されます。

注：製品のインストールと新機能に関する既知の問題については、「*変更の影響とアップグレードガイド*」の「インストールおよびアップグレード」の章を参照してください。

解決された問題

解決された問題については、CA Support Online の[解決された問題のページ](#)を参照してください。

Java Runtime Environment の問題

Java Runtime Environment（JRE）は、CA Clarity PPM のリリース時には不明である問題を含めて、セキュリティに関する問題を解決するために頻繁に更新されます。最新の修正を反映するには、最新の JDK バージョン 7 をダウンロードすることを推奨します。

サポートされているアップグレードパス

注：サポートされているアップグレードパスの詳細については、「*変更の影響とアップグレードガイド*」の「インストールとアップグレード」の章を参照してください。

アドインの互換性

以下のセクションでは、リリース 13.3 用のインストールされたアドイン、アクセラレータ、およびコネクタのアップグレードに関する重要な情報について説明します。

- Microsoft SharePoint Connector Release 3.0.0 が最新です。Microsoft SharePoint Release 2.0.2 またはそれ以前のコネクタがインストールされている場合、既存のコネクタをアップグレードすることはできません。

注：このコネクタのインストールの詳細については、「*Microsoft SharePoint Connector ガイド*」を参照してください。

- バージョン 13.0、13.1、または 13.2 からリリース 13.3 にアップグレードする場合は、以下のアドインがアップグレードされます。
 - PMO アクセラレータ
 - Clarity ソリューション パック (CSP)
 - CA Clarity Agile
- バージョン 13.0 より前のいずれかのバージョンからリリース 13.3 にアップグレードする場合は、インストールされているアドインをすべてアップグレードしてください。
- 新しいインストール処理はアドイン、アクセラレータ、コネクタに利用できます。

注：詳細については、「インストール ガイド」を参照してください。

以下の表に、リリース 13.3 と互換性のあるアクセラレータおよびコネクタのリリースを示します。

アクセラレータまたはコネクタ	新しいインストール環境 13.3	12.x から 13.3 へのアップグレード	13.x から 13.3 へ のアップグレード
PMO アクセラレータ	3.3.00	3.3.0	3.3.0
Clarity ソリューション パック (CSP)	3.3.0	3.3.0	3.3.0
アーンドバリューマネージャ	2.0.1	2.0.1	2.0.1

アクセラレータまたはコネクタ	新しいインストール環境 13.3	12.x から 13.3 へのアップグ レード	13.x から 13.3 へ のアップグレー ド
PRINCE2 用アクセラレータ	2.0.1	2.0.1	2.0.0 または 2.0.1
PMBOK 用アクセラレータ	2.0.1	2.0.1	2.0.0 または 2.0.1
新製品開発用アクセラレータ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
PPM Essentials アクセラレータ	2.0.2	2.0.2	2.0.0、2.0.1、ま たは 2.0.2
BRM アクセラレータ	3.0.2	3.0.2	3.0.2
CA Unicenter Service Desk 12.7 & CA Software Change Manager™ 12.1.0.3 用コネクタ	2.0.1	2.0.1	2.0.1
CA Unicenter Asset Portfolio Management 11.3.4 用コネクタ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
Microsoft SharePoint 2013 用コネクタ	3.0.0	3.0.0	3.0.0
サービス接続	2.0.0	2.0.0	2.0.0
Catalyst コネクタ	2.5.0	2.5.0	2.5.0
CA Clarity Agile	13.2 または 13.3	13.2 または 13.3	13.2 または 13.3

CA Clarity PPM ソリューション パックの互換性

CA Clarity PPM ソリューション パック アドインをインストールする前に、CA Clarity PPM および PMO アクセラレータの互換性のあるバージョンがインストールされていることを確認してください。ソリューション パックをインストールする前に、PMO アクセラレータ アドインの互換性のあるバージョンをインストールしていないと、CA Clarity PPM ソリューション パックのインストールは失敗します。

重要： CA Clarity PPM と PMO アクセラレータのアップグレードが必須か、または任意かを判断するには、**CA Clarity PPM ソリューションパック リリース ノート**の認定およびサポートされているバージョンのチャートを確認してください。完全な情報については、**CA Support Online** の [CA Clarity PPM ソリューションパックの索引ページ](#)を参照してください。

CA Business Intelligence (CABI) リリース 3.3 Service Pack 1

CA Clarity PPM のこのリリースは **CABI リリース 3.3 Service Pack 1** をレポートに使用します。

CABI をインストールしていない場合、またはより古いバージョンがある場合、2 つの手順を完了する必要があります。まず、**CABI** をダウンロードし、インストールします。次に、**Service Pack 1** をダウンロードし、インストールします。

すでに **CABI リリース 3.3** をインストールをしている場合は、**Service Pack 1** をダウンロードし、インストールするだけで済みます。

以下の手順では、すべてのカスタマ用のインストールを完了する方法について説明します。

インストールアクションまたはアップグレードアクション

以下の手順に従います。

1. 以下の手順を実行して、**CABI リリース 3.3** をダウンロードし、インストールします。

注： この手順は新しいカスタマ向けか、または古いバージョンの **CABI** を持っているカスタマのアップグレード用です。

- a. [CA Support Online の CA Clarity PPM サポート ページ](#)にログインします。
- b. ページの先頭で、[ダウンロード] リンクをクリックします。
- c. [Search Products] で製品を選択し、[CA Clarity Creator User License-MULTI-PLATFORM] を選択して Enter キーを押します。
[Download Center] ページが表示されます。

- d. *[Please narrow your search results for "Products" below]* セクションで、適切なリリース番号を選択します。
 - e. *[実行]* をクリックします。
[Product Download] ページが表示されます。
 - f. インストール用の適切な **CA Business Intelligence 3.3** ダウンロードの隣の *[ダウンロード]* リンクをクリックします。
[Download Method] ページが表示されます。
 - g. ダウンロードリクエストを完了するための適切なダウンロード方法を選択します。
 - h. **CABI リリース 3.3** をインストールします。
2. **Service Pack 1** をダウンロードし、**CABI リリース 3.3** インストール上にインストールします。
- a. **CA FTP** サイトから **CABI リリース 3.3 Service Pack 1** およびリリースノートをダウンロードします。

Windows の場合 :

`ftp://ftp.ca.com/caproducts/CABI/CABI-3.x/boeXIR3_SP6/Windows/`

注 : ZIP ファイルおよび **CABI 3.3 SP1** リリース ノートの両方をダウンロードします。

Linux の場合 :

`ftp://ftp.ca.com/caproducts/CABI/CABI-3.x/boeXIR3_SP6/Linux/`
 - b. **CABI 3.3 SP1** リリース ノートの手順に従って、**Service Pack 1** を **CABI リリース 3.3** のインスタンスにインストールします。

第 2 章：新規機能と拡張機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[新規機能](#) (P. 15)

[拡張された機能](#) (P. 22)

新規機能

このリリースには以下の新規機能が搭載されています。

- [ポートフォリオコストとリソースのバランシング](#) (P. 15)
- [会計的に有効になったアイデア](#) (P. 16)
- [ログインページのリブランディング](#) (P. 17)
- [対話型ガントの印刷](#) (P. 18)
- [MSP 統合パフォーマンスの向上](#) (P. 19)
- [ガント内の編集可能な期間フィールド](#) (P. 20)
- [XOG ガバナーの上限](#) (P. 21)
- [コスト計画および非アクティブなリソースへの入力](#) (P. 22)
- [Checkinstall の改善](#) (P. 22)

ポートフォリオコストとリソースのバランシング

ウォーターライン ビューが機能拡張され、選択されたポートフォリオ制約に対して集計された時間変動合計を表示するようになりました。集計は、コストおよびリソースの制約がどのようにポートフォリオに影響しているかに関する詳細を提供します。集計の詳細により、問題の領域を絞り込み、コストおよびリソースの制約のバランスを保つことができます。

個別の投資に対する時間変動値は、選択された制約用のガント バーを重ねて表示することもできます。

会計が有効になったアイデア

このリリースには会計が有効になったアイデアが含まれます。 変更には以下のものが含まれます。

- アイデアのコスト計画、利点計画、および予算計画を作成する機能。
- CA Clarity PPM で開く任意のアイデア用の [会計計画] タブ。このタブでは、アイデアのコスト計画、利点計画、および予算計画にアクセスできます。
- [会計] (サブページ)、[コスト計画]、[利益計画]、および [予算計画] の各アイデア ページ用の新しいアクセス権。
- アイデアの変換ページ上の [会計プロパティと会計計画のコピー] という名前の新しいチェック ボックス。変換ページでは、アイデアを投資に変換できます。このチェック ボックスを使用すると、アイデアからターゲットの投資に会計データをコピーできます。
- 実際の属性をビューに追加できないようにする、アイデアのコスト計画オブジェクト用の新しいビュー。
- 実際の属性をビューに追加できないようにする、アイデアの利益計画の詳細オブジェクト用に追加された新しいビュー。
- アイデアのコスト計画上のワークフロー プロセスの設定。

以下の制限がアイデアの会計計画に対して存在します。

- トランザクションを使用する実績値は使用できません。
- 手動で作成されたコスト計画 (基準計画) のみが、ターゲット投資に変換できます。投資チームから値が入力される方法、またはタスク割り当て方法を使用して作成するコスト計画は変換されません。
- 予算計画はターゲットの投資に変換されません。
- ワークフロー システム アクションは、アイデア会計計画をターゲット投資に変換するためには利用できません。アイデア会計計画は、ユーザ インターフェースによってのみ変換できます。

ログイン ページはリブランドできる

ログイン ページの外観をカスタマイズするために UI テーマの CSS を使用できます。たとえば、組織に対してカスタム ログを設定するか、またはログインするときにすべてのユーザに対して表示するメッセージを設定します。サンプルのシステム メンテナンス メッセージが以下のように表示されます。

システムは 4 月 15 日 (日) 午後 11:30 から 4 月 16 日 (月) 午前 3:30 まで利用できません。



1. ログイン ページのトップ メッセージ

ログイン ページの上部にサービスのお知らせまたはカスタム メッセージを追加できます。

2. ログイン ページの下部のメッセージ

ログイン ページの下部にサービスのお知らせまたはカスタム メッセージを追加できます。

3. ログイン ページのロゴ

ログイン ページにカスタム ロゴを挿入できます。

注： 詳細については、「*Studio 開発者ガイド*」を参照してください。

ガント ビューは印刷できる

ガント ビューを印刷できるようになりました。ガント図の [印刷可能ビュー] アイコンは、印刷するタスクの読み取り専用ビューを新しいウィンドウに表示します。一度に最大 300 のタスクを表示できます。ページの高さは自動的にタスクに適合します。また、ページ幅は自動的に列および期間設定に適合します。

ガント ビューを印刷する前に、ブラウザ メニューで背景色およびイメージ オプションを選択します。

ブラウザ	実行するアクション
Internet Explorer、Firefox	ブラウザ メニューで [ページ設定] オプションを使用します。
Google Chrome	ブラウザ メニューで [印刷] オプションを使用します。

注： Internet Explorer および Firefox でブラウザ メニューを有効にするには、Alt キーを使用します。

CA Microsoft Project インターフェースの変更点

リリース 13.3 では、Microsoft Project インターフェースに対して以下の変更が行われました。

リソースの平準化

CA Microsoft Project インターフェースは Microsoft Project のリソースの平準化機能をサポートします。Microsoft Project でリソースの平準化を実行し、CA Clarity PPM にプロジェクトを保存する場合、リソースの平準化情報が CA Clarity PPM データベースで維持されます。次回に CA Clarity PPM から Microsoft Project でプロジェクトを開くと、入力したリソースの平準化情報を利用できます。

注：リソースの平準化の詳細については、Microsoft Project のドキュメントを参照してください。

パフォーマンスの調整

Microsoft Project インターフェースは、以下の領域のパフォーマンスを改善するように調整されました。

- CA Clarity PPM から Microsoft Project へのプロジェクトのエクスポート
- Microsoft Project から CA Clarity PPM へのプロジェクトのインポート

小さなプロジェクトでは、インポートおよびエクスポートアクションのパフォーマンスが向上します。実績値と ETC、ベースラインコストと使用曲線などの大きな時間スケール値データがあるプロジェクトでは、期待された向上が見られない可能性があります。

Java Runtime Environment の提供

CA Clarity PPM は Microsoft Project による使用を目的として、特定の Java Runtime Environment (JRE) を提供します。JRE は、エンドユーザのワークステーション上のハードドライブ (Microsoft Project インターフェースのインストールディレクトリ) にコピーされます。JRE は Microsoft Project インターフェース統合に使用され、Windows ワークステーションに使用される JRE から独立しています。

Microsoft Project インターフェースは、互換性があると CA が認定して提供する内部 JRE バージョンのみを使用します。この方法により、JRE のワークステーション Windows インストールが正しいバージョンでないか、JRE がない場合に発生する問題を回避できます。IT 部門は、Microsoft Project インターフェースを展開する際に、JRE バージョンを更新する必要はなくなりました。

サイレント インストールのサポート

このリリースで、Microsoft Project インターフェースは、ユーザが介在することなくサイレントにインストールできます。

以前のリリースでは、Microsoft Project アドイン セットアップを実行すると、Windows オペレーティング システムは、発行元を確認できないというメッセージを表示しました。その後、カスタマイズをインストールするかどうか尋ねるメッセージが表示されました。

このメッセージは現在表示されなくなっています。アドインが正常にインストールされると、確認メッセージが表示されます。Microsoft Project インターフェース アドイン セットアップが、インストーラ ウィンドウを自動的に閉じます。

ガント ビュー上のタスク期間は編集できる

ガント ビュー上のタスク期間は、タスクの開始日およびタスクの終了日の間の作業日の数を表します。期間は、保存後に、タスクの開始日とタスクの終了日に基づいて自動的に計算されます。このリリース以降、ガント ビュー上のタスク期間を編集できるようになりました。これは、プロジェクト マネージャがタスクの開始日および終了日だけでなくタスク期間に基づいてタスクをスケジュールするのに役立ちます。

以下の表では、ガント ビュー上のタスク属性を編集するときに表示される対話型の変更について説明します。

編集するフィールド	結果
タスク 期間	タスクの終了日およびガント バーが変更されます。
タスク 終了日	タスクの期間が変更されます。
タスク 開始日	タスクの終了日が変更されますが、タスクの期間は変更されません。

ただし、以下の場合はタスク期間を編集できません。

- タスクがマイルストーンまたは要約タスクである場合。
- その期間に対してタイムシートがすでにサブミットされている場合。

注：詳細については、「プロジェクト管理ユーザガイド」を参照してください。

XOG ガバナーの上限

XOG によって多数のインスタンスをインポートまたはエクスポートする場合、メモリ不足 (OOM) またはタイムアウト例外が発生する可能性があります。これらの問題进行处理するため、CSA の [アプリケーション] タブにある [最大 XML ノード数] オプションを設定できるようになりました。このドキュメントでは、[最大 XML ノード数] をノードの上限と呼びます。[最大 XML ノード数] 用のデフォルト値は、オンデマンド環境およびオンプレミス環境の両方において 150,000 です。

このリリース以前は、XOG 読み込みリクエストについては、リクエストされた情報全体が単一の応答で送信され、それによって OOM またはタイムアウトの例外が発生しました。このリリース以降、サーバはノードの上限に達するまでインスタンスを処理します。処理後は、ページネーションを使用して、応答はチャンクでクライアントに送信されます。次のインスタンスのセットに対するページネーションを使用し、適切な情報と共に新しい読み込みリクエストをサーバに送信する必要があります。読み込みリクエストに対して処理されたインスタンスの数は XOG 出力のスキップ要素で更新されます。

インスタンスをインポートする場合、サーバは反復ごとに 20 個のインスタンスを処理します。20 個のインスタンスがロードされる前にノードの上限に到達した場合、サーバはその反復でその時点までにロードされたインスタンスのみを処理します。残りのインスタンスは、次の反復で自動的に考慮されます。

注：XOG ガバナーの上限設定の詳細については、「XML Open Gateway 開発者ガイド」を参照してください。

[コスト計画] 入力の非アクティブなリソース

このリリース以降、アクティブなリソースと非アクティブなリソース用の情報は、両方ともコスト計画詳細に表示され、レート計算に使用されます。リソース属性がリソース プロファイルで指定される場合、その属性の値はアクティブなステータスにかかわらずレート計算に対して取得されます。

たとえば、トランザクション クラスがリソースに対して定義される場合、リソースのトランザクション クラスがコスト計画に表示されます。 トランザクション クラスはレート マトリクスからレートを取得するために使用されます。 プロパティの概要ページまたは会計のプロパティ ページでリソースを非アクティブに設定しても、この動作は変わりません。

リソースに定義されたトランザクション クラスがないが、プロジェクト上の割り当て、ETC、または実績がある場合、レートはレート マトリクスから取得されます。 アクティブなステータスによってこの動作は変わりません。

Checkinstall の改善

インストール チェッカー (checkinstall) ユーティリティは、インストールまたはアップグレードを評価します。このユーティリティは、インストールまたはアップグレードの開始時点、およびアップグレードの試みの最後に自動的に実行されます。ただし、スタンドアロンユーティリティとして実行できます。このユーティリティは<インストールルート>/checkinstall/check-logs ディレクトリで、レポート結果ファイル (precheck-results.html) を作成します。

拡張された機能

このリリースでは、以下の機能が拡張されています。

- [MS Sharepoint 統合の向上](#) (P. 23)
- [バブル チャートの透過性](#) (P. 23)

Microsoft SharePoint の変更用コネクタ

Microsoft SharePoint Connector Release 3.0.0 が最新です。 Microsoft SharePoint Release 2.0.2 またはそれ以前のコネクタがインストールされている場合、既存のコネクタをアップグレードすることはできません。新しい Release 3.0.0 コネクタのインストールが求められます。既存のコネクタは SharePoint 2010 に基づいており、新しい Release 3.0.0 コネクタは SharePoint 2013 に基づいています。

バブル チャートの向上

このリリース以降、バブル チャート内のバブルは半透明になっています。この変更により、大きなバブルの後ろにある小さなバブルが表示されるようになります。以前は、バブルがチャートで塗りつぶしオブジェクトとして表示されていたので、小さなバブルは表示されませんでした。

第 3 章 : ドキュメント

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[マニュアルの変更点](#) (P. 26)

[CA Technologies マニュアル選択メニューの表示](#) (P. 27)

マニュアルの変更点

CA Clarity PPM のマニュアルは、これらの変更と共に情報をより速く検索できるよう改善されました。

- **CA Answer Bar。** CA Answer Bar (<https://enable.ca.com/answers/us/CA-Clarity-PPM>) を使用して、必要な CA Clarity PPM 情報をすばやく検索できます。最新の「ハウ ツー」シナリオのコンテンツを見つけたり、CA サポートから有益な情報を得たりできます。検索の時間が減り、ジョブの完了により多くの時間を費やすことができます。CA Clarity PPM 13.0 およびそれ以上では、技術コンテンツを利用可能です。
- **CA Clarity PPM Cookbook。** 一部の CA Clarity PPM の技術コンテンツが、モバイルデバイス プラットフォーム Flipboard で利用できます。 [このビデオを見て](#)、今すぐクックブックを使用してください。フリッピングをお楽しみください。
 - RSS フィード フォルダに CA Clarity PPM Cookbook を追加するには、以下の URL を追加します：
<http://cookbooks.ca.com/cacppm/?feed=rss2>
 - モバイルアプリではなくブラウザで CA Clarity PPM Cookbook を表示するには、以下の URL にアクセスします：
<https://flipboard.com/section/ca-clarity-ppm-cookbook-bgk99n>
- **オンラインヘルプ マニュアル選択メニュー。** コンテンツの検索方法を簡略化し、改善するため、製品で利用できるマニュアル選択メニューには製品のドキュメントのみが含まれます。リリース ノート、グリーンブック、KB 記事、ソーシャル メディアなどの追加情報は、CA Support Online 上の On Premise および On Demand マニュアル選択メニューで利用できます。
- **新しいポートフォリオ管理シナリオ ガイド。** ポートフォリオマネージャが必要とする「ハウ ツー」シナリオのコンテンツを提供します。

- **新しいポートレット リファレンス ガイド。** すべての標準装備のポートレットおよび PMO アクセラレータ ポートレット用のリストと詳細を提供します。
- **アクセラレータ、アドイン、およびコネクタ ガイド。** ユーザによるコンテンツの検索方法を改善するため、アクセラレータ、アドイン、およびコネクタ用のリリース ノートは、関連する製品ガイドに含まれるようになりました。
- **基本ユーザ ガイドおよび CA Clarity パーソナライズ機能ユーザ ガイド。** ユーザによるコンテンツの検索方法を改善するため、「CA Clarity パーソナライズ機能ユーザ ガイド」のコンテンツは、「基本ユーザ ガイド」に含まれるようになりました。
- **アクセス権限リファレンス ガイド。** ユーザによるコンテンツの検索方法を改善するため、すべてのガイドのアクセス権限は「アクセス権限リファレンス ガイド」に含まれるようになりました。それらは、個別のガイドには含まれなくなりました。
- **XML Open Gateway 開発者ガイド。** 要素構文 *IsComplete* および *completed* は非推奨の形式と見なされ、*complete* によって置換されました。たとえば、true の場合、OBSSoccs 要素のオプションの *complete* 要素は、任意の OBS 関連付けがセットとして完全な置換を表すことを示します。値が false の場合、既存の OBS 関連付けは挿入または更新されます。sample.xsd ファイルを含むサンプル コンテンツは、引き続き古い形式を表示する可能性があります。ドキュメントは、*complete* 要素を含むトピックで、以下の注と共に、単一基準のこの認識を反映します。

注: *Complete* は現在使用されていない形式である *completed* および *IsComplete* に置き換わるものです。

CA Technologies マニュアル選択メニューの表示

CA Support Online のドキュメント ページで利用できる CA Technologies マニュアル選択メニューで、セクション 508 に準拠している HTML 形式と PDF 形式の製品ドキュメント セットを提供します。CA Support Online から CA Technologies マニュアル選択メニューをオンラインで表示できます。また、マニュアル選択メニューをコンピュータ上にダウンロードしてローカルで表示することもできます。

CA Technologies マニュアル選択メニューは、製品と一緒に自動的にインストールされ、重要なドキュメントセットを HTML 形式で参照できます。マニュアル選択メニューは、製品の [ヘルプ] リンクをクリックすると表示できます。

ZIP ファイルを抽出して CA Technologies マニュアル選択メニューを表示するには、以下の手順を実行します。

1. WinZip などのアーカイブ製品を使用します。
2. コンテンツをローカルフォルダに解凍します。
3. Bookshelf フォルダ内の Bookshelf.html ファイルをダブルクリックします。

CA Technologies マニュアル選択メニューが開きます。このメニューを使って、製品ドキュメントの表示と検索を行うことができます。

ドキュメントを検索する場所

以下の場所から製品ドキュメントにアクセスできます。

- 製品の [ヘルプ] リンクをクリック。
- <http://www.ca.com/jp/support> のテクニカル サポート
- [Answer Bar](#) でトピックを検索。

PDF の表示および検索方法

PDF ファイルを表示するには Adobe Reader が必要です。ご使用のコンピュータにインストールされていない場合は、Adobe の Web サイトからダウンロードおよびインストールしてください。

CA Technologies マニュアル選択メニューで Adobe Reader を使って PDF ファイルを開いて検索すると、PDF ファイルが個別に検索され、検索用語の個々のインスタンスが表示されます。

付録 A: 互換性

この付録には、このリリース用のオペレーティング環境情報が含まれます。また support.ca.com の [互換性] リンクからも利用できます。

この付録に記載された製品の一部は CA Clarity PPM に付属していないため、ユーザが購入する必要があります。CA Clarity PPM に付属しているソフトウェアの詳細については、「[CA Clarity PPM に含まれる製品 \(P. 37\)](#)」を参照してください。詳細については、使用許諾契約を参照してください。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Clarity PPM サーバ](#) (P. 29)

[統合サーバ](#) (P. 33)

[クライアント](#) (P. 34)

[Clarity Mobile Time Manager](#) (P. 36)

[CA Clarity PPM に含まれる製品](#) (P. 37)

[変更履歴](#) (P. 38)

[FIPS オペレーティング モード制限](#) (P. 46)

[IPv6 ネットワーク 互換性制限](#) (P. 47)

[CA Business Intelligence リリース 3.3 SP1 - \(SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 6\) サポートされている設定](#) (P. 51)

CA Clarity PPM サーバ

以下の表に、CA Clarity PPM サーバソフトウェア（アプリケーションおよびバックグラウンドサーバ）を実行するサーバ用にサポートされているプラットフォームを示します。

新規インストール

	Microsoft Windows	Linux	IBM AIX
--	-------------------	-------	---------

オペレーティングシステム ¹⁾	■ Windows Server 2008 SP2 (R2) SP1 64 ビット (Standard Edition、Enterprise Edition) ■ Windows Server 2012 64 ビット (Standard Edition) ■ Red Hat Enterprise Linux 5.5 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しい更新リリース ■ Red Hat Enterprise Linux 6.4 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しい更新リリース ■ SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリース²⁾ ■ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP2 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しいサービスパック リリース²⁾ ■ Oracle Enterprise Linux Server 6u2 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しい更新リリース³⁾ ■ AIX 7.1 : TL0 : すべての保守リリース ■ AIX 6.1 : TL2 : すべての保守リリース
-------------------------------	--

アップグレードを実施する顧客への追加サポート

	Oracle Solaris	Hewlett-Packard HP-UX
オペレーティングシステム	■ Solaris 10 SPARC64 64 ビット : すべての保守リリース^{4、5)}	■ HP-UX 11iv3 IA64 : すべての保守リリース⁶⁾

メモ:

- ¹⁾ CA Clarity PPM は、サポートされているオペレーティング システムのすべてのローカライズ バージョンでサポートされています。
- ²⁾ Microsoft SQL Server データベースに接続している SUSE Linux 上の CA Clarity PPM は、現在サポートされていません。
- ³⁾ Microsoft SQL Server データベースに接続している OEL 上の CA Clarity PPM は、現在サポートされていません。
- ⁴⁾ Oracle UltraSPARC T2、T3、T4、および T5 プロセッサはサポートされていません。Solaris (x86) はサポートされていません。
- ⁵⁾ Solaris のサポートは、Clarity の次のメジャー リリース (つまり CA Clarity PPM v14.0.00) で終了します。
- ⁶⁾ HP-UX のサポートは、Clarity の次のメジャー リリース (つまり CA Clarity PPM v14.0.00) で終了します。

コンポーネント

仮想化	「CA Support Statement for Virtualization」を参照してください。このドキュメントを検索するには、 CA Support Online にログインし、[CA Clarity Project & Portfolio Manager Support] ページに移動し、[Product Status] 領域までスクロールして、[Virtualization Support information] リンクをクリックします。データベース仮想化の詳細については、注の ⁷⁾ を参照してください。
データベース ⁷⁾	■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition: バージョン 11.2.0.2.x またはそれ以上のパッチ レベル ^{7a)}、^{7b)} ■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition: バージョン 11.2.0.3.x またはそれ以上のパッチ レベル ^{7a)}、^{7b)} ■ Microsoft SQL Server 2008 Enterprise Edition : すべてのサービス パック ^{7c)}、^{7d)} ■ Microsoft SQL Server 2008 R2 Enterprise Edition : すべてのサービス パック ^{7c)}、^{7d)} ■ Microsoft SQL Server 2012 Enterprise Edition : すべてのサービス パック ^{7b)}
データベース インターフェース	■ Oracle および SQL Server (CA Clarity PPM 配布に含まれる) 用の CA Clarity PPM DataDirect Type 5 (v5.0.1) ドライバ。
Java Runtime	■ Oracle Java SE JDK 1.7 update 25 (64 ビット) またはそれ以上のパッチ レベル ⁸⁾ ■ HP JDK 7 (64 ビット) : 7.0.01 またはそれ以上のパッチ レベル ⁸⁾ ■ IBM Java 7 (64 ビット) : 7.0.0.100 (SR5) またはそれ以上のパッチ レベル ⁸⁾

アプリケーションサーバ ⁹⁾	■ Apache Tomcat 7.0.42 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) ■ Oracle WebLogic Server 12.1.1 : すべてのサービス パック (64 ビット) ■ IBM WebSphere Application Server 8.5.5^{9a)}
レポートサーバ	CA Business Intelligence™ リリース 3.3 SP1 (BOXI 3.1 SP 6)。詳細については、 CA Business Intelligence リリース 3.3 (P. 51) を参照してください。
メールサーバ	すべての SMTP/IMAPI/POP3 メールサーバを使用できます。CA Clarity PPM は、いかなるベンダーも明示的にはサポートしていません。

メモ:

- ⁷⁾ データベースはベンダーにサポートされるすべてのオペレーティング システム上で実行できます。実稼働データベースはソフトウェアに仮想化されたオペレーティング システムでサポートされていません。この例には、VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、および Citrix XenServer が含まれます。AIX LPARS、HP-UX VPARS、および Solaris コンテナはこのカテゴリに分類されず、引き続きサポートされます。また、パフォーマンスや並行処理のテストのためのダウンストリーム環境が、実稼働で使用されるものと一致することを推奨します。
- ^{a)} Oracle Real Application Cluster (RAC) はサポートされています。
- ^{b)} ここで、(x) はサポートされるパッチ レベルを表します (たとえば、11.2.0.4 は新しいリリースで、本質的にサポートされていません)。
- ^{c)} SQL Server の名前付きインスタンスはサポートされています。SQL Server クラスタリングは、失敗したバックグラウンドプロセスの再起動にデータベースが失敗した後で、手動での介入によってサポートされます。
- ^{d)} 5000 人のユーザを超えて展開する Microsoft SQL Server 展開は、CA Technologies によって承認される必要があります。承認されない場合は、Microsoft SQL Server に関連する拡張性の制限、および CA Clarity PPM のような OLTP (オンライン トランザクション処理) 製品の処理方法により、Oracle が要件となります。

- ⁸⁾ 最新のパッチ レベルを実行することをお勧めします。
- ⁹⁾ CA Clarity PPM は、サポートされているアプリケーション サーバのすべてのローカライズ バージョンでサポートされています。
 - ^{a)} WebSphere の既存のインストールは、次のメジャー リリースでは AIX 上でサポートされる予定です。
- WebLogic は CA Clarity PPM v14.0 でサポートされません。

統合サーバ

以下の表に、CA Clarity PPM と統合しているサーバ用にサポートされるソフトウェアを示します。

シングル サインオン サーバ	CA SiteMinder 12.0 SP3 ²⁾
LDAP Server	すべての LDAP v3 準拠ディレクトリ サーバ (CA Directory、Microsoft Active Directory、Novell eDirectory、Oracle Directory Server、Sun One Directory など) をサポートします。
SharePoint Server	SharePoint Server 2010、2013 (64 ビット) 、Enterprise Edition ¹⁾

メモ:

- ¹⁾ SharePoint Connector バージョン 2.3。
- ²⁾ CA SiteMinder 12.0 SP3 は認定済みバージョンです。さらに、SiteMinder 12.51 CR1 もサポートされています。

クライアント

以下の表に、CA Clarity PPM にアクセスするクライアント コンピュータ用にサポートされているソフトウェアを示します。

注：複数バージョンのサードパーティ ソフトウェアの同時使用は、非同期および互換性の問題を引き起こす可能性があるため、サポートされていません。CA Technologies は、ベンダーがサポートするサードパーティ ソフトウェアのバージョンのみをサポートします。

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
オペレーティングシステム	■ Microsoft Windows XP Professional : SP3 以上 ■ Microsoft Windows 7 SP1 32 ビットおよび 64 ビット、全エディション ■ Microsoft Windows 8、32 ビットおよび 64 ビット	■ Mac OS X: リリース 10.8.4 またはそれ以上のパッチ レベル	■ 「Web ブラウザ」セクションにリストされているブラウザをサポートするすべてのベンダーまたはバージョン。
Web ブラウザ	■ Microsoft Internet Explorer 10.0 およびそれ以上のパッチ レベル (Microsoft Windows 7 および 8) ¹⁾ ■ Microsoft Internet Explorer 9.0 およびそれ以上のパッチ レベル ■ Microsoft Internet Explorer 8.0 およびそれ以上のパッチ レベル ■ Firefox 22 およびそれ以上のリリース レベル ²⁾ ■ Google Chrome 31.x.x. またはそれ以上のリリース ²⁾	■ Safari 6.0.5 およびそれ以上のパッチ レベル ■ Firefox 22 およびそれ以上のリリース ²⁾	■ Firefox 22 およびそれ以上のリリース ²⁾

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
クライアントアプリケーション ⁸⁾	■ Microsoft Excel 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション。 ■ Microsoft PowerPoint 2007-2013 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション。 ■ Microsoft Project 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション³⁾ ■ Java 7 Runtime Environment: 1.7 update 25 またはそれ以上のアップデート レベル⁴⁾ ■ Adobe Flash Player 11.7 またはそれ以上⁵⁾ ■ Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上⁶⁾ ■ CA Open Workbench 2.1 ■ Crystal Reports 2008 Designer Client SP5⁷⁾	■ Microsoft Excel 2011 ■ Adobe Flash Player 11 またはそれ以上⁵⁾ ■ Mac OS Preview PDF ビューア⁶⁾ ■ <i>Microsoft Project</i> へのサポートなし ■ <i>Open Workbench</i> へのサポートなし ■ <i>Crystal Reports Designer</i> へのサポートなし	■ Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上⁶⁾ ■ Adobe Flash Player 11 またはそれ以上⁵⁾ ■ <i>Excel</i> エクスポートへのサポートなし ■ <i>Microsoft Project</i> へのサポートなし ■ <i>Open Workbench</i> へのサポートなし ■ <i>Crystal Reports Designer</i> へのサポートなし
サードパーティ SOAP 統合ツールキット	■ Microsoft Visual Studio 2005 (.NET Framework 2.0) ■ Apache AXIS 1.4-6	■ Apache AXIS 1.4-6	■ Apache AXIS 1.4-6

メモ:

- ¹⁾ CA Business Intelligence は Microsoft Internet Explorer 10.0 でサポートされていません。

- ²⁾ Firefox および Chrome の新しいリリースは、リリース後の最小限のテストだけでサポートされている場合があります。Google Chrome バージョン 29、30、および 31 には CA Clarity PPM での既知の問題があるため、バージョン 32 またはそれ以上を使用することを推奨します。
- Firefox や Chrome などのブラウザは頻繁に更新されます。リリースは必要に応じて更新されます。
- ³⁾ x86 Microsoft Project 用の JRE x86 をインストールします。x64 Microsoft Project 用の JRE x64 をインストールします。
- ⁴⁾ Open Workbench、CA Clarity PPM Microsoft Project インターフェース、および XOG クライアントに必要。
- ⁵⁾ Xcelsius ダッシュボード表示用。
- ⁶⁾ 製品ドキュメントおよびオフライン レポートの表示用。
- ⁷⁾ カスタム レポート開発にのみ必要。
- ⁸⁾ 複数バージョンのサードパーティ ソフトウェアの同時使用は、非同期および互換性の問題を引き起こす可能性があるため、サポートされていません。CA Technologies は、ベンダーがサポートするサードパーティ ソフトウェアのバージョンのみをサポートします。

Clarity Mobile Time Manager

以下の表に、Clarity Mobile Time Manager アプリケーションに対してサポートされているモバイルオペレーティング システム プラットフォームを示します。

	iOS	Android
モバイルオペレーティングシステム	■ Apple iOS 6.0 またはそれ以上 ■ Apple iOS 7.0 またはそれ以上	■ Google Android OS 4.0 またはそれ以上

CA Clarity PPM に含まれる製品

以下の表に、CA Clarity PPM に付属するライセンスされたサードパーティソフトウェアを示します。以下のソフトウェアは、すべて CA Clarity PPM のインストールメディアに含まれています。

コンポーネント	メモ
Java Runtime	サポートされているすべてのオペレーティング システム用の JDK インストーラ。
アプリケーションサーバ	サポートされているすべてのオペレーティング システム用 Apache Tomcat。
レポートサーバ	CA Business Intelligence リリース 3.3 Service Pack 1
クライアントアプリケーション	Xcelsius Designer 2008 Service Pack 6、Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 5

注：

- Oracle WebLogic および IBM WebSphere は CA Clarity PPM に含まれていません。Tomcat でこれらのサーバのどちらかを使用するユーザは、CA Clarity PPM とは別のライセンスを取得する必要があります。
- CA Business Intelligence リリース 3.3 には、BusinessObjects Enterprise XI (BOXI) リリース 3.1 Service Pack 5 が含まれています。BusinessObjects Web Intelligence (WEBI) は BOXI リリース 3.1 Service Pack 5 に含まれています。

変更履歴

CA Clarity PPM リリース 13.3.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	■ Red Hat Enterprise Linux 5.95 64 ビットのサポート、つまりリリース 5.5 ～ 5.9 のサポートを追加しました。 ■ Red Hat Enterprise Linux 6.4 のサポート、つまりリリース 6.0 ～ 6.4 のサポートを追加しました ■ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP2 64 ビットのサポートを追加しました ■ Oracle Enterprise Linux Server 6.46u2 64 ビット、つまりリリース 6.2 ～ 6.4 のサポートを追加しました。 ■ AIX 6.1、TL82 のサポートを追加しました ■ AIX 7.1、TL20 のサポートを追加しました ■ Mac OS X、リリース 10.8.4 のサポートを追加しました
サーバ Java Runtime	■ Oracle Java SE JDK 1.7 update 25 (64 ビット) のサポートを追加しました ■ IBM Java バージョンを 7.0.0.100 (SR5) に更新しました
モバイルオペレーティングシステム ¹⁾	■ Apple iOS 6.1.4 および iOS 7 のサポートを追加しました ■ Google Android OS 4.2.2 (Jelly Bean) のサポートを追加しました
データベースサーバ	■ 変更はありません
アプリケーションサーバ	■ Apache Tomcat 7.0.33 のサポートを終了しました ■ Apache Tomcat 7.0.40 のサポートを追加しました ■ IBM WebSphere Application Server 8.5.5 のサポートを追加しました
レポートサーバ	■ CA Business Intelligence r3.3 のサポートを終了しました ■ CA Business Intelligence r3.3 SP1 (BOXI 3.1 SP6) のサポートを追加しました。

コンポーネン ト	説明
クライアント ブラウザ	■ Microsoft Windows 用の Firefox 19.0.2 22 のサポートを追加しました ■ Microsoft Windows 用の Google Chrome 31.x.x.x のサポートを追加しました。また、バージョン 29、30、および 31 での既知の問題に関する脚注を追加しました ■ Apple Mac OS 用の Safari 6.0.52 のサポートを追加しました ■ Adobe Flash Player バージョン 11 のサポートを追加しました
クライアント アプリケー ション	■ Microsoft Project 2007 のサポートを終了しました
データベース	■ 変更はありません
統合サーバ	■ SharePoint Server 2013 のサポートを追加しました ■ SharePoint Connector 2.0.3 を追加しました ■ 脚注「CA SiteMinder 12.0 SP3 が認定されました。さらに、SiteMinder 12.51 CR1 がサポートされました。」を追加しました

CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	■ Microsoft Windows XP : SP3 のサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows XP : SP2 のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows 8、32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows Vista : すべてのエディションのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Server 2008 (R2 以外) のサポートを終了しました。 ■ Mac OS X 10.8.2 のサポートを追加しました。 ■ Mac OS X 10.4 のサポートを終了しました。 ■ Oracle Enterprise Linux 6u2 のサポートを追加しました。
サーバ Java Runtime	■ Java JDK 1.7 update 21 およびそれ以上のサポートを追加しました。
モバイルオペレーティングシステム ¹⁾	■ Apple iOS 6.0 およびそれ以上のサポートを追加しました。 ■ Google Android 4.0 (Ice Cream Sandwich) およびそれ以上のサポートを追加しました。
データベースサーバ	■ Oracle 11.2.0.3 Standard Edition および Enterprise Edition のサポートを追加しました。 ■ Microsoft SQL Server 2012 Enterprise Edition のサポートを追加しました。
アプリケーションサーバ	■ Tomcat 7.0.33 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Tomcat 7.0.26 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。
レポートサーバ	■ 変更はありません。

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	注：CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。 ■ Firefox 19.0.2 のサポートを追加しました。 ■ Firefox ESR 17.0.4 のサポートを追加しました。 ■ Firefox ESR 10.0.5 のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Internet Explorer 10 (Windows 8 のみ) のサポートを追加しました。 ■ Chrome 25.0.1364.172m のサポートを追加しました。 ■ Apple Safari 6.0.2 (Mac OS X 10.8.2 またはそれ以上で使用) のサポートを追加しました。
クライアント アプリケーション	■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 6 のサポートを追加しました。 ■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Project 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット：すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Excel 2010-2013 64 ビット：すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 64 ビット：すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ CA Open Workbench 2.1 のサポートを追加しました。 ■ CA Open Workbench 2.0 のサポートを終了しました。
データベース	■ ソフトウェアによって仮想化されたオペレーティング システムでのデータベース実行のサポートを明確化しました。 ■ Oracle 10.2.0.5 のサポートを終了しました。

メモ:

- ¹⁾ このサポートの対象は Clarity Mobile Time Management アプリケーションのみです。

CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	■ OEL Server 6u2 のサポートを追加しました。 ■ Red Hat Enterprise Linux 5.5 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを追加しました。 ■ Red Hat Enterprise Linux 5 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Server 2008 R2 Service Pack 1 のサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 ビット) Standard Edition または Enterprise Edition のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Server 2003 64 ビット Standard Edition または Enterprise Edition (Service Pack 2 まで) のサポートを終了しました。 ■ SUSE Linux Enterprise Server 10 Service Pack 4 64 ビット (x86 チップセット) のサポートを追加しました。 ■ SUSE Linux Enterprise Server 10 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを終了しました。 ■ AIX 7.1 : すべての保守リリースのサポートを追加しました。 ■ AIX 5.3 : すべての保守リリースのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Vista Service Pack 2 : すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows Vista : すべてのエディションのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows 7 Service Pack 1、32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows 7、32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを終了しました。

コンポーネン ト	説明
サーバ Java Runtime	■ Oracle Java SE JDK 1.7.0_4 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ HP JDK v7 : 7.0.01 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ HP JDK 6 : 6.0.05 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ IBM Java 7.0.0 64 ビット : それ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ IBM Java 6 64 ビット : SR6 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ Sun J2SDK 1.6.0 : バージョン 1.6.0_20 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。
アプリケー ションサーバ	■ Tomcat 7.0.26 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Tomcat 6.0.35 のサポートを終了しました。 ■ Oracle Weblogic Server 12.1.1 : すべてのサービス パック (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Oracle WebLogic Server 10.3 : すべてのサービス パック (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ IBM WebSphere Application Server 8.5 (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ IBM WebSphere Application Server 7.0.0.7 (64 ビット) のサポートを終了しました。
レポート サー バ	■ CA Business Intelligence リリース 3.3 (BOXI 3.1 Service Pack 5) のサポートを追加しました。 ■ CA Business Intelligence リリース 3.2 (BOXI 3.1 Service Pack 3) のサポートを終了しました。

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	注：CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。 ■ Firefox ESR 10.0.5 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。 ■ Firefox 13.0 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。 ■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。 ■ Chrome 18.0.1.25.152m 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。
クライアント アプリケーション	■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。 ■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。 ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。 ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。
データベース	■ ソフトウェアによって仮想化されたオペレーティング システムでのデータベース実行のサポートを明確化しました。 ■ Oracle 10.2.0.5 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	■ Firefox 10.0 のサポートを追加しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。 ■ Firefox 3.6 のサポートを追加しました。 ■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。
アプリケーション サーバ	■ Tomcat 6.0.35 のサポートを追加しました。 ■ Tomcat 6.0.26 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM バージョン 13.0.00 での変更点

コンポーネント	説明
サーバオペレーティングシステム	■ CA Technologies は、Solaris および HP-UX での既存のインストールに対してアップグレードを実施する顧客にのみサポートを提供します。 ■ SUSE Enterprise Linux 11 のサポートを追加しました。 ■ RHEL 6.0 のサポートを追加しました。 ■ 32 ビット オペレーティングシステムを中止しました。
サーバ DB	■ Microsoft SQL Server 2008 R2 を追加しました。 ■ Microsoft SQL Server 2005 のサポートを中止しました。
サーバ Java Runtime	■ 32 ビットのサポートを中止しました。
アプリケーションサーバ	■ 32 ビットのサポートを中止しました。
レポートサーバ	■ CA Business Intelligence リリース 3.2 のサポートを追加しました。 ■ Actuate のサポートを終了しました。 ■ CA Business Intelligence リリース 3.0 のサポートを終了しました。
クライアントブラウザ	■ Firefox 8.0 のサポートを追加しました。 ■ Safari 5.1.1 のサポートを追加しました。 ■ IE 9.0 のサポートを追加しました。 ■ IE6 および IE7 のサポートを中止しました。
クライアントアプリケーション	■ Microsoft Project 2000、2002 および 2003 のサポートを中止しました。 ■ Crystal Reports デザイナ 2008 のサポートを、SP3 またはそれ以上（サービスパックではなく）と定義しました。
SharePoint Server	■ SharePoint Server 2010 のサポートを追加しました。 ■ SharePoint Server 2007 のサポートを中止しました。

FIPS オペレーティング モード制限

すべての CA Clarity PPM プラットフォームが、FIPS 140-2 認定用に RSA BSAFE Crypto-J 6.0.0.1 をサポートするとは限りません。以下の表に、RSA によって文書化された互換性のあるプラットフォームおよびオペレーティング システムを示します。ほかのプラットフォームが正しく機能する場合がありますが、CA Technologies はここにリスト表示されているプラットフォーム以外での Crypto-J 6.0.0.1 のサポートを確認できません。

プラットフォーム	オペレーティング システム	ビット数	リリース
Microsoft Windows	2008 Server	64	Oracle JDK 1.7 update 25
Red Hat Linux	Advanced Server 6.0	64	Oracle JDK 1.7 update 25
IBM AIX	AIX 6.1	64	IBM Java 7 (64 ビット)

メモ:

- <JAVA_HOME>/jre/lib/security 以下の java.security ファイルに、すべてのセキュリティ プロバイダがその優先順位と共にリスト表示されます。CA Clarity PPM は、自動的にプロバイダ リストで Crypto-J プロバイダを SunJCE プロバイダの位置より上に配置します。CA Clarity PPM で Crypto-J プロバイダを使用するには、次のように明示的に、最初のインデックス位置のセキュリティ プロバイダ エントリを設定する必要があります: security.provider.1=com.sun.crypto.provider.SunJCE。これに応じて、他の位置のインデックス番号を調整する必要があります。SunJCE セキュリティ プロバイダが最初のセキュリティ プロバイダであることを確認します。
- AIX で IBM FIPS プロバイダを使用している場合は、上記で述べた変更を加える必要はありません。AIX は、FIPS モード用に IBM FIPS プロバイダを使用しています。

IPv6 ネットワーク互換性制限

CA Clarity PPM は、IPv6 ネットワーキング環境での動作を制限付きで認定されています。IPv6 を使用する CA Clarity PPM のその他の設定は動作しますが、認定されていません。IPv6/IPv4 混合環境では、サーバインスタンスは IPv6 および IPv4 のそれぞれに対して設定された、2 つのネットワークインターフェースカードを使用すると想定されています。

Microsoft Windows 設定での Clarity インストール

設定	アプリケーションサーバ	アプリケーションサーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	ステータス
1	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	IPv6 およびミックス モードで認定済みで、純正モードでサポートされています。
2	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	純正 IPv6 およびミックス モードでサポートされています。
3	IBM Websphere 8.5.5 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.2	Windows 2008 R2	ミックス モードでサポートされています。
4	Oracle WebLogic 12.1.1 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.2	Windows 2008 R2	純正 IPv6 およびミックス モードで認定済みです。

Microsoft Windows 設定でのメール サーバ

設定	アプリケーション サーバ	アプリケーション サーバ用 OS	データ ベース	データベース用 OS	メール サー バ	ステータス
5	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.2	Windows 2008 R2	MIRAK ⁵⁾ 10.3.1	純正 IPv6 お よびミック ス モードで サポートさ れています。

Microsoft Windows 設定での Business Objects Testing CA BI 3.3SP1

設定	アプリ ケーション サーバ	アプリケーション サーバ用 OS	データ ベース	データベース用 OS	BO	ステータス
6	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	CA BI 3.3 SP1	IPv6 ミック ス モードで 認定済みで、 純正モード でサポート されています。
7	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	CA BI 3.3 SP1	純正 IPv6 お よびミック ス モードで サポートさ れています。

Microsoft Windows 設定での v12.1.1 から v13.3 へのアップグレード

設定	アプリケーションサーバ	アプリケーションサーバ用 os	データベース	データベース用 os	ステータス
8	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	ミックス モードでサポートされています。
9	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.2	Windows 2008 R2	ミックス モードでサポートされています。

アプリケーションおよびデータベース用の異なる os によるハイブリッド
CA Clarity PPM 設定でのインストール

設定	アプリケーションサーバ	アプリケーションサーバ用 os	データベース	データベース用 os	ステータス
10	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.2	RH6	純正 IPv6 およびミックス モードでサポートされています。
11	Oracle WebLogic 12.1.1 (64 ビット)	RH6	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	純正 IPv6 およびミックス モードで認定済みです。

**アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド
CA Clarity PPM 設定でのメール サーバ**

設定	アプリケーション サーバ	アプリケーション サーバ用 OS	データ ベース	データベース 用 OS	メール サー バ	ステータス
12	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.2	RH6	MIRAK 10.3.1 ¹⁾	ミックス モー ドでサポート されています。

注：¹⁾ MIRAK はテスト目的で使用するオープン ソース メール サーバです。

**アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド
CA Clarity PPM 設定での Business Objects Testing CA BI 3.3 SP1**

設定	アプリ ケーション サーバ	アプリケーション サーバ用 OS	データ ベース	データベー ス用 OS	BO	ステータス
13	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows Server 2008 R2 SP1	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.2/3	RH6	CA BI 3.3 SP1	ミックス モードでサ ポートされ ています。

**アプリケーションおよびデータベース用の異なる os によるハイブリッド
CA Clarity PPM 設定での v12.1.1 から v13.3 へのアップグレード**

設定	アプリケーションサーバ	アプリケーションサーバ用 os	データベース	データベース用 os	ステータス
14	Apache Tomcat 7.0.42 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	RH6	ミックス モードでサポートされています。

CA Business Intelligence リリース 3.3 SP1 - (SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 6) サポートされている設定

以下の Business Objects 設定は CA Clarity PPM 用にサポートされています。CABI Business Intelligence (CABI) リリース 3.3 の最小ハードウェア要件などの追加情報は、CABI ドキュメントに記載されています。仮想化サポートの詳細については、以下の SAP のドキュメントを参照してください：
「*Business Objects Support Statement – VMWare ESX Server*」。

以下の表にリストされているアプリケーションサーバは、CA Clarity PPM との統合において CABI 3.3 (BOXI リリース 3.1 SP5) に対してテストされた最小限のリリースを示します。以降のリリース（名前に含まれる最後の数字で示される）はサポートされますが、CA Clarity PPM との統合において必ずしもテストされるとは限りません。アプリケーションサーバ JDK も同様です。

注：以下の表にリスト表示されたアプリケーションサーバのネットワーク エディションがある場合、それらのネットワーク エディションはサポートされません。特に指定がない限り、アプリケーションサーバ（JDK を基礎とする）の 32 ビットバージョンのみを使用できます。

CABI リリース 3.3 の実行に対しては、UNIX または Linux のオペレーティングシステムを使用した CA Clarity PPM システム上でのテスト、および SQL Server での設定が行われていません。そのような場合、CA は、別の Windows サーバ上で CABI リリース 3.3 を実行することを推奨します。

オペレーティングシステム	サーババージョン	CABI 3.3 アプリケーションサーバ/JDK	Clarity データベースプロバイダ/データコネクタ
Microsoft Windows	■ Windows Server 2008 SP2 Standard Edition または Enterprise Edition (32 ビットおよび 64 ビット) ^{1), 2)} ■ Windows Server 2008 R2 64 ビット ^{1), 2)}	■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.6.0_xx	■ MS SQL Server 2008/ODBC SQL Native Client 10、MS SQL Server 2008 JDBC (Sqljdbc.jar 3.0)、OLE DB SQL Native Client 10 ■ MS SQL Server/Microsoft JDBC 1.2 for SQL Server 2005、Microsoft ODBC SNAC (ネイティブクライアント)、Microsoft OLEDB SNAC (ネイティブクライアント) ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアントインストーラを使用)。
Linux	■ Red Hat Enterprise Server 5 (64 ビット) ³⁾ ■ Red Hat Enterprise Server 6 (64 ビット) ⁴⁾ ■ SUSE Enterprise Linux 10 Service Pack 2 (64 ビット) ■ SUSE Enterprise Linux 11 (64 ビット)	■ Tomcat 6.0 (OEM 提供)、JDK 1.6.0_xx	■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2)、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアントインストーラを使用)。

オペレーティングシステム	サーババージョン	CABI 3.3 アプリケーションサーバ/JDK	Clarity データベース プロバイダ/データ コネク タ
Solaris	■ Solaris 10 (64 ビット SPARC) ⁵⁾	■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.6.0_xx	■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2)、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアント インストーラを使用)。
AIX	■ AIX 6.1 (64 ビット) ⁶⁾ ■ AIX 7.1 (64 ビット) ⁷⁾	■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.6.0_xx	■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2)、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアント インストーラを使用)。
HP-UX	サポートされません。		

メモ:

- ¹⁾ Business Objects は、リスト表示されているオペレーティングシステム用のすべての Microsoft クリティカルパッチのインストールをサポートおよび推奨します。
- ²⁾ Query as a Webservice (QaaWs) を利用する場合は、.NET Framework 2.0 が必要です。
- ³⁾ Red Hat Enterprise Server 5 用の最小パッチレベル：最小のオペレーティングシステムのインストールと RHBA-2007 : 0619-3 が必要です
- ⁴⁾ RHEL 6 の最小パッチ要件： compat-libstdc++-33-3.2.3-69.el6.i686 (GCC 3.3.4 互換標準 C++ ライブラリ)、glibc-2.12-1 (RedHat アドバイザリ RHBA-2007:0619-3)、libXext.i386、libncurses.so.5
- ⁵⁾ Solaris 10 の最小パッチ要件： SUNWgzip、SUNWzlib、SUNWscpu、SUNWbash、SUNWbcp、SUNWxcu4 XCU4 Utilities、SUNWxwftnt、SUNWxwplt、SUNWlibC、SUNWeu8os - 米国英語/UTF-8 OS 環境ユーザファイル、SUNWeuluf - 米国英語/UTF-8 環境ユーザファイル、SUNWuiu8 - UTF-8 ロケール用 Iconv モジュール、SUNWulcf - UTF-8 ロケール環境共通ファイル、SUNWmfrun、SUNWxwice。
- ⁶⁾ AIX 6.1 の最小パッチ要件： Technology Level 2 SP1、AIX 用 IBM C++ ランタイム環境コンポーネント => xlc.aix61.rte:10.1.0.0。
- ⁷⁾ AIX 7.1 の最小パッチ要件： Technology Level 7.1.0.0 / 7100-00-00-0000、AIX 用 IBM C++ ランタイム環境コンポーネント => xlc.aix61.rte:11.1.0.1。

付録 B: アクセシビリティ機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[製品機能の強化点](#) (P. 55)

[ユーザのアクセシビリティの設定](#) (P. 59)

[キーボードショートカット](#) (P. 60)

製品機能の強化点

CA Technologies は、すべてのお客様が弊社の製品およびサポート ドキュメントを正しく使用してビジネス業務を遂行できるよう、全力を尽くしています。アクセシビリティ モードを有効にすると、支援を必要とするユーザ向けに、ユーザ インターフェースのコントラストを最適化し、スクリーンリーダーをアシストします。

CA Clarity PPM のアクセシビリティ機能は、Mozilla Firefox 13 ブラウザおよび Job Access With Speech (JAWS) スクリーンリーダーと一緒に使用したときに最高の機能を発揮します。

CA Clarity PPM は、以下の領域において Windows ベースおよび Macintosh ベースの環境からアクセシビリティ拡張機能を継承します。

- 表示
- 音声
- キーボード
- マウス

注：以下のトピックの情報は、Windows ベースおよび Macintosh ベースのアプリケーションに適用されます。Java アプリケーションは多数のホストオペレーティング システムで実行されており、これらのシステムの一部にはすでに Java アプリケーションで使用可能な支援テクノロジーがあります。これらの既存の支援テクノロジーで、JPL で記述されたプログラムへのアクセスを提供するには、ネイティブ環境における支援テクノロジー自体と、Java 仮想マシン (Java VM) 内から使用可能な Java Accessibility サポートとの間のブリッジが必要です。このブリッジは、両端が Java VM とネイティブ オペレーティング システムであるため、ブリッジ先のプラットフォームごとに若干異なります。Oracle では現在、このブリッジの JPL 側と Win32 側の両方を開発しています。

表示

コンピュータ画面の表示を見やすくするには、以下のオプションを調整します。

フォント スタイル、色、およびアイテムのサイズ

フォントの色、サイズ、その他の表示の組み合わせを選択できます。

画面の解像度

ピクセル数を変更して、画面上でオブジェクトを拡大できます。

カーソルの幅および点滅速度

カーソルを見つけやすくしたり、点滅速度を最小化したりできます。

アイコンのサイズ

アイコンを大きくして見やすくしたり、アイコンを小さくして画面のスペースを増やしたりできます。

高コントラストの配色

見やすい色の組み合わせを選択できます。

音声

画像の代わりに音声を使用するか、またはコンピュータ サウンドを聞きやすくしたり区別しやすくしたりするには、以下のオプションを調整します。

音量

コンピュータ サウンドの音量を上げたり下げたりできます。

音声変換

音声で読み上げたコマンド オプションやテキストを聞くことができます。

警告

警告を視覚的に表示します。

通知

アクセシビリティ機能が有効または無効になったときに、聴覚的または視覚的な合図を送ります。

スキーム

コンピュータのサウンドと特定のシステム イベントを関連付けることができます。

キャプション

スピーチおよびサウンドのキャプションを表示できます。

キーボード

以下のようにキーボードを調節できます。

表示の間隔

キーを押したときにどのくらいの速度で文字を繰り返すかを設定できます。

トーン

特定のキーを押したときに音が鳴るようにできます。

スティッキー キー

片手または1本の指で入力するユーザは、別のキーボードレイアウトを選択できます。

マウス

以下のオプションを使用して、マウスの動作を速くしたり使いやすくしたりできます。

クリック速度

選択するときのマウス ボタンのクリック速度を選択できます。

クリック ロック

マウス ボタンを押したままにしなくても強調表示したりドラッグしたりできます。

アクションの入れ替え

マウスの左ボタンで制御される機能と右ボタンで制御される機能を入れ替えることができます。

点滅速度

カーソルの点滅速度を選択したり、点滅させるかどうかを選択したりできます。

ポインタのオプション

以下の操作を実行できます。

- 入力中のポインタの非表示
- ポインタ位置の表示
- ポインタが画面を移動する速度の設定
- 見やすくするためのポインタのサイズおよび色の選択
- ダイアログ ボックス内のデフォルト位置へのポインタの移動

ユーザのアクセシビリティの設定

ユーザのアクセシビリティを設定するには、以下の手順に従ってください。

以下の手順に従います。

1. 「管理」を開き、「組織とアクセス」から「リソース」をクリックします。
2. リソースの名前をクリックします。
「プロパティ」ページが表示されます。
3. 適切な「アクセシビリティ」チェック ボックスをオンにします。

スクリーン リーダー最適化 UI

スクリーン リーダーがよりよく機能を認識できるように、ユーザ インターフェイスが最適化されるかどうかを決定します。スクリーン リーダーを使用している視覚障害のあるすべてのユーザのために、このチェック ボックスをオンにします。

既定値：オフ

ハイコントラストの色モード

色覚障害のあるユーザを補助する特別な UI テーマを使用するかどうかを決定します。選択すると、ユーザにはハイ コントラストの UI テーマが表示されます。

既定値：オフ

4. 変更を保存します。
5. （オプション）「スクリーン リーダー最適化 UI」を選択した場合は、スクリーン リーダー ソフトウェアがコンピュータ上で実行されていることを確認してください。
6. ユーザが CA Clarity PPM にログインすると、一旦ログアウトしてログインし直すよう指示されます。

キーボードショートカット

基本機能のキーボードショートカット

以下の表では、すべての CA Clarity PPM ページで利用可能な基本機能のキーボードショートカットについて説明します。

フィーチャー	キーの組み合わせ
ホーム メニュー	Ctrl+Alt+h
管理メニュー	Ctrl+Alt+a
お気に入りメニュー	Ctrl+Alt+f
戻る	Ctrl+Alt+b または Alt+ 左方向キー
ホーム ページ	Ctrl+Alt+Home
更新	Ctrl+Alt+F5
検索	Ctrl+Alt+s
履歴	Ctrl+Alt+v
ヘルプ	F1

CA Clarity キーボードショートカット (アクション)

以下の表では、CA Clarity PPM ページ上のアクションのキーボードショートカットについて説明します。

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティ キーの組み合わせ
フィールドエディタの有効化 (たとえば日付 ピッカー等)	Enter	Alt+Enter
ポップアップを閉じる	Esc	Shift+Esc
タブ メニューを開く	Enter	Alt+Enter

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティ キーの組み合わせ
メニューで左、右、上、または下に移動	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー	Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー
ハイライトされたメニュー アイテムの選択	Enter	Alt+Enter
リスト ページのリンクを開く	Ctrl+Enter	
チェック ボックスのオン/オフ 注：チェック ボックスにフォーカスがある必要 があります。	スペース キー	
階層リストの展開 注：階層リストの + にフォーカスがある必要 があります。	スペース キー	

CA Clarity キーボード ショートカット (リスト)

以下の表では、リストのキーボード ショートカットについて説明します。

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
リスト内の編集と表示モード間の切り 替え	表示、編集	Enter
リスト (グリッド) 内のセルからセル への移動	表示	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー
リスト内の別のエリアへの移動：ポー トレットアイコン、列ヘッダ、リスト の本文、ボタン	表示	Tab (転送) Shift+Tab (戻る)
表示モードへの切り替え	編集	Esc または Enter
セル内での左または右への移動	編集	左方向キー 右方向キー

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
編集可能なセルから編集可能なセルへの移動	編集	Tab (転送) Shift+Tab (戻る)
行の最後に移動	編集	Ctrl+ 右方向キー
注：TSV 行でのアクションの場合は、キーボードの組み合わせを繰り返してTSV セクションから移動してください。		
行の先頭に移動	編集	Ctrl+ 左方向キー
ページを上または下に移動	表示、編集	Ctrl+Alt+ 上方向キー Ctrl+Alt+ 下方向キー
リストの一番上または一番下に移動	表示、編集	Ctrl+ 上方向キー Ctrl+ 下方向キー
注：TSV セル内のアクションの場合は、キーボードの組み合わせを繰り返してTSV セクションから移動してください。		
ドロップダウン リストまたは日付セレクトアを開く	編集	Enter
ドロップダウン内の選択項目を移動	編集	上方向キー 下方向キー
ドロップダウンまたは日付セレクトア内のハイライトされた値の選択	編集	Enter
日付セレクトア内の日付のハイライト	編集	下方向キー
長いテキスト エリアでの新しいラインの追加	編集	Ctrl+Enter

付録 C: サードパーティ ソフトウェアに 関する通知

CA Clarity PPM で使用するサードパーティ製ユーティリティおよびソフトウェアのライセンス情報は、CA Technologies マニュアル選択メニューの **¥Bookshelf Files¥TPSA** フォルダから入手できます。

CA Technologies マニュアル選択メニューでライセンス情報を開くことができます。サードパーティ ライセンス契約の隣の **[TXT の表示]** リンクをクリックします。